

西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
 (22:0111) <http://nshp.jp/>



健康バンザイ

109 西脇病院の医師が健康や病気に関するさまざまな情報を提供します。

アルツハイマー型認知症について 対応にご注意を

神経内科部長兼 認知症疾患医療センター長
 佐藤 一彦

▼看護局から

新年あけましておめでとうございませう。

年末には、西脇工業高校陸上部男女が都大路を力走する姿に、感動し、人と人がつながることの大切さを改めて感じました。そして、地域との連携、つながりを大切にして、地域医療を担う病院として、西脇病院は、地域の皆さんから、温かく力強いご支援をいただいております。私たち職員は、誇りを持って働いています。

西脇病院は、急性期医療を担う病院ですが、地域医療支援病院でもあります。「地域に信頼される良質な医療の提供」という理念のもと、取り組みの一つとして、一昨年9月から、地域の医療機関、保健福祉施設等に働く看護職の看護力向上を目的に「地域看護教育研修センター」を開設し、毎回多数の方に受講していただいております。また、地域で開催される各種イベントにも、救護班として参加しています。ますます、加速する高齢化社会に向けて「自助・互助」の視点を大切に、皆さんと力を合わせて地域の方が住み慣れた場所で、安心して生活できるように、私たちは「今、できること」を実行して行きたいと考えています。皆さんにとって良い年でありますように心からお祈りいたします。

▼はなみずきの音のお知らせ

乳がんについて話し、ともに歩んでいきませんか。この会はこの医療機関で治療を受けていても参加できます。

▼とき 1月31日(土) 午後2時～4時

▼ところ 病院講堂(2階)

▼対象 乳がん経験者およびその家族

▼内容 交流会、管理栄養士による「おいしく食べて体重管理」の話

▼費用 会員は無料
 非会員は500円

▼問合せ 地域医療連携室相談支援センター ☎228270

▼西脇病院「健康セミナー」

毎月1回、西脇病院医師による「健康セミナー」を開催しています。

▼とき 1月19日(月) 午後3時～4時

▼ところ 病院講堂(2階)

▼講師 皮膚科医長 酒井大輔

▼演題 紫外線による皮膚障害、サンスクリーン剤を塗っていますか?

▼問合せ 病院総務課 (病院内線366)

▼エントランスホールギャラリー

絵手紙の会による年賀状交流はがきなどの展示です。子ども絵手紙コーナーもあります。

▼とき 1月5日(月)～30日(金)

▼第6回市民フォーラム

「こんな町にしたいな、西脇市」地域医療を守るために

「こんな町にしたいな、西脇市」地域医療を守るために

◆問合せ 西脇小児医療を守る会 ☎090-8538-1337 石井 <http://www.kodomonomirai.com> info@kodomonomirai.com

アルツハイマー型認知症(AD)を患われた方に、物忘れや勘違いがあった時、「少しでも思い出してほしい。改善して欲しい」と、理詰めで説明されたことはありませんか。ADにならされると、物が覚えられず分からないことが増えたことに不安や焦燥を感じておられます。正しい判断力の低下に加え、忘れたこと自体も忘れられている場合、一方的に家族から記憶にないことを捲し立てられると、「悪意をもって、無実の私のせいになっている。きつと私を嫌いなのだ」などと怒ったり悲しんだりされるのです。

記憶力は低下するものの、感情は保たれていますので、不快な気持ちは持続され、それが繰り返されると家族の顔を見ただけで身構えてしまわれるようになりかねません。泣き出したり、怒ったりされるようになることさえあります。例えば、食事が終わってすぐに「ご飯は、まだ?」と言われる時は、まだ血糖値が上がらず、食べたことを忘れられているのです。こういう場合には否定せず、「お茶でも飲んで待ってくださいね」と話をそらすことが適切です。血糖値が上がってくるにつれ満腹感を感じ、食事を要求したことも忘れられることが多いです。ご本人を否定せず、行動の原因を察し、また失敗しないように環境を整備して、機嫌よく自信を持って過ごされるようにサポートすることが大切です。

基調講演では、岩井正秀病院長が、医療と介護、福祉を連携させた国の「地域包括ケアシステム」の構築について紹介。「超高齢化社会になり、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らすため、地域全体で支え合う取り組みが求められる」と訴えました。

最後に西脇市多可郡医師会の藤田位会長は、中学生や関係団体の皆さんへのお礼とともに、「このような活動を長く続けていくことが、市民全員で地域医療を考えていくことにつながっていく」と締めくくりました。

また、健康増進啓発ポスター表彰式も行われました。



▼看護師・助産師募集

西脇病院では、平成27年4月採用予定の看護師・助産師

を募集しています。

▼募集職種 看護師・助産師

▼募集定員 若干名

▼資格 昭和45年4月2日以降に生まれた方で、看護師または助産師の免許を有する方(平成27年3月31日までに同免許を取得する見込みの方を含む。)

▼受付期間 1月5日(月)～30日(金)

▼試験日 2月4日(水)

▼試験内容 筆記(論文)・面接・健康診断

▼試験会場 西脇病院

▼合格発表 2月下旬

▼申込方法 申込書に必要事項を記入し、市役所総務課までご提出ください。

※申込書等は市ホームページからダウンロードできます。※郵送で請求する場合は、封筒の表に「〇〇〇受験案内請求」(例/看護師受験案内請求)と朱書きし、120円切手・返信用封筒を同封して、左記へ請求してください。返送先の住所、氏名を明記のこと。

▼申込み・問合せ 市役所総務部総務課 〒677-8511 西脇市郷瀬町605 (市役所内線209)

「をテーマに、地域医療について考える「第6回市民フォーラム」が市民会館で開催されました(地域医療検討会主催)。今回は、市内中学生3年生10人が参加し、地域医療について学んだことや考えを披露しました。

生徒たちは、西脇病院小児科の閉鎖問題をきっかけに、お母さん方が6万人以上の署名を集めたことや、市民が「正しい医療のかかり方」について学び始めたことなどを紹介。「一人ひとりが適正受診を心がけ、医療関係者と住民が互いに信頼できる素敵なまちにしましょう」と呼びかけました。

西脇小児医療を守る会コラム 78

ママにだってできるんだよ!!

中学生と地域医療の授業

今年もよろしくお願いたします。

昨年11月24日、市民会館にて「第6回市民フォーラム」が開催されました。西脇市民オーケストラの演奏をスタートに、市内の中学生が地域医療について書いた作文の中から厳選された10作品の発表がありました。

多感な年代の子どもたちが一生懸命考え、地域医療についてのさまざまな熱い思いを発表してくれました。

聞いていて胸が熱くなりました。年代を問わず市民全体で『地域医療』について考えていくことが、未来の西脇市につながるのだと感じました。

今回の交流を大切に、次世代へとつながる活動をしていきたいと思っております。

◆問合せ 西脇小児医療を守る会 ☎090-8538-1337 石井 <http://www.kodomonomirai.com> info@kodomonomirai.com



▲中学生による作文発表

西脇多可休日急患センター

◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室

◆診察日 日曜日(年末年始を除く) 午前9時～午後5時

◆問合せ ☎23-5380

○病状やけがの様子など電話であらかじめご連絡ください。電話が混みあいご迷惑をおかけすることがありますが、しばらくしてからおかけ直してください。

○必ず健康保険証を持参ください。

1月の出務予定医師	
1月4日(日)	三木 信彦 先生
1月11日(日)	畑澤 幸雄 先生
1月18日(日)	柳井 映二 先生
1月25日(日)	矢持 健 先生

※西脇市多可郡医師会の医師が交代で、入院を必要としない内科系の軽症患者の診察を行います。